

組合員の負託に応え発展誓う

秦野市農業協同組合創立記念式

第52回 J A 創立記念式

開会式の様子を撮る山口組合長



式の冒頭で山口政雄組合長は「JAの役割をしっかりと果たし、今後も組合員の負託に応えていく」とあいさつした。式典では、協同組合顕彰基金規程で寺山の古谷茂男氏、下大根の柳川弘

歴史と役割再確認 功労者の3氏表彰



古谷茂男氏



柳川弘一氏



高橋照江氏

J A はだのは1日、本所で秦野市農業協同組合創立記念式を開いた。1963(昭和38)年に秦野市農協が誕生したことを記念して、毎年開いているもの。組合員や役員ら160人が出席し、JAの歴史を再確認するとともに、一層の発展を誓った。

1963年8月1日、大根農協、本町農協、東秦野農協、南秦野農協、北秦野農協の五つの農協が合併。旧秦野駅前煙草会館を秦野市農協会館に改称し、組合員2560人で秦野市農協が創立された。66年に西秦野農協と上秦野農協が2次合併して、組合員3933人となり、市内1農協となった。多くの正組合員で構成され、現在の秦野市農協の基礎となった。72年には平沢に現在の本所事務所が完成し、92年に愛称を「JA

J A はだののあゆみ

はだの」に決定した。2002年に地域農業の拠点として「はだのじばさんず」がオープン。2011年6月に組合員加入戸数1万戸を達成し、現在1万3909人、1万1470戸の組合員が加入している。都市化が進むにつれ、組合員の構成も変わり、7割が准組合員となっている。J A はだのは地域に開かれた農協として、地域農業と地域社会の活性化に貢献し、組合員の期待に応える組織運営に努めていく。

農作業事故なくそう

9月15日から秋期安全運動 運動を実施します。期間は10月31日まで。農作業従事者の高齢化などから農作業事故撲滅を目的に、秋期農作業安全

どで農作業事故が増加傾向にあります。農業機械を使用する前には、整備や作業点検をし、定期的に休憩を取るなど事故の防止に努めましょう。

児童が食と農を体感

新潟で夏休み子ども村

J A はだのは、7月29日と8月5日から2泊3日の行程で、第19回夏休み子ども村を開いた。秦野市内の小学3〜6年生の児童194人が、新潟県湯沢町周辺でさまざまな体験を通じ、食と農の大切さを学んだ。



ジャガイモの収穫を楽しむ児童

児童は、地元農家の指導によるジャガイモなどの収穫体験や、特産の八色スイカを使ったスイカ割り大会、JAや同地区の食文化に関するクイズ

の力キキョラムに取り組んだ。参加した児童の一人は「おいしい野菜が取れた。家族みんなで食べたい。新しい友達もできた」と笑顔で話した。

接近! おじいちゃん

「生まれ育った地元を大切にしたい」と話す大秦町の高橋隆夫さん。葉タバコや落花生などを栽培する農家の長男として生まれ育った。自動車が好きだったことから市内の職業訓練校に進学。卒業後は、自動車部品メーカーで金型の製造に汗を流した。休日には自宅の農業も手伝うなど、



大秦町の

高橋 隆夫さん(64)

生まれ育った地元大切に

忙しい毎日を通じ、農繁期には親戚も総出で農作業に助んできたという高橋さん宅では、都市化が進む中「時代に合った資産運用」と父の代でアパ

高橋さんは「代々先祖が守ってきた家と土地を守っていくことはもちろん、地域のために自分ができることはこれからも協力していきたい」と笑顔を見せた。

仏花求め大繁盛

じばさんず 豊富な品ぞろえ

「じばさんずが、盆用の仏花を買いたい」と来店。開盆の日の前日となる12



豊富な品ぞろえで人気の花コーナー

来店者の一人は「花持ちが良いので、じばさんずで毎年買っている。きれいな秦野の花を供え、ご先祖様に喜んでほしい」と笑顔で話した。

部目的別趣味グループし、式典に彩りを添え「友の会」が舞踊を発表した。

日には、来店者が約700人にも上った。店内には、生産量国内トップシェアを誇る秦野産小菊をはじめ、ケイトウ、ユリ、アスターなど多くの品種が色鮮やかに並んだ。アレンジや豊富な品ぞろえに加え、新鮮で花持ちが良く、安価なことも人気の秘けつ。生産者も追加搬入に励み、来店者の購買意欲に応えた。

「うでピー」加工最っ盛り

作柄平年並み 出荷9ト見込む



加工作業が進む「うでピー」

秦野市の特産加工品である冷凍ゆで落花生「うでピー」の加工が最盛を迎えている。平沢のJAはだの加工所では、職員らが連日作業に励んでいる。今年は例年並みの作柄で、20戸の契約農家から9トの出荷を見込んでいる。

贈答用にも うってつけ

うでピーは早生種の落花生「郷の香」を水洗いした後、塩水に30分浸し、122度の蒸気圧力釜でさやごとゆで上げ、選別後、瞬間冷凍して仕上げる。13日に始まる。全国に先駆けて19

89年に商品化した。贈答用などとしても毎年人気が高い。今年は8月末から、じばさんずや特産センター・秦野・渋沢両店など、店頭に並ぶ予定。250号410円(税込)で販売する。

梨をPR 試食販売

果樹部会梨部会は22日、じばさんずで梨の試食販売会を開いた。秦野市園芸協会が開くフルトまつりの一環として毎年行っているもので、地場産の梨の消費拡大を狙い、店外に設けたスペースには、部員4人が持ち寄った「幸水」がずらりと並んだ。



梨をPRする井上部長(右から2人目)

部員は、来店者に栽培

市民農業塾生が初めて販売実習はだの市民農業塾の新規就農準備コース受講生は12日、市役所本庁舎駐車場で、自分たちが育てた野菜の販売実習をした。研修の一環として初めて実施。消費者の生の声を聞き、実践的な販売の手法を学ぼうと、受講生11人が参加した。



品種の特徴を説明する受講生(左)

種の特徴やお勧めの調理方法などを説明しながら販売した。同塾の概要を記載したちらしも配布し、活動をPRした。

受賞おめでとう！ 日頃の成果を発揮 果樹部会ぶどう部は7月24日、市内ほ場で大粒種立毛共進会を開いた。審査の結果は次の通り。

- ▽優秀賞 栗原孝夫(平沢)
- ▽優良賞 岩田賢津美(鶴巻北)
- ▽須藤政一(宮浦)
- ▽優秀賞 北村光弘(鶴巻)
- ▽優良賞 成田和善(鶴巻南)
- ▽平井正義(北矢名)

ブドウ出荷スタート

天候不順も糖度高く品質上々 管理徹底

果樹部会ぶどう部は7月31日、「テラウエ」特産センター・秦野・渋沢の出荷目合わせ検討会を開設。今年産の品質と出荷時期を検討した。販売



ブドウの品質を確認する部員ら

今年天候不順が続

ったものの、部員は適切な栽培管理を徹底。生育は順調に推移し、糖度の高いブドウに仕上がった。

谷井保夫部長は「部員の努力で食味のいいブドウに仕上がった。ぜひ多くの人に味わってほしい」と笑顔で話した。

★ 営農技術 ★

ヒントポイント

農業技術センター 58-0333

普及指導部 果樹花き課 374 (伊藤) 内線372
果樹花き課 372 (益田) 内線363
果樹花き課 372 (堂田) 内線384
野菜加工課 (本社)

秋ジャガ栽培のポイント

ジャガイモは古くは「二度芋」と呼ばれ、春作秋作ができます。しかし、近年の厳しい残暑により、植え付けや栽培が難しくなっています。

秋ジャガイモは休眠の浅い品種を選びましょう。「男爵薯」や「メークイン」は春作用の品種です。「男爵薯」を無理に植えても収量が少なくなります。

秋作用には作りやすい「シマ」(ニシユタカ)、食味にこだわらなければ「アンデス赤」や「キタアカリ」があります。

野良が 大に甘

高橋洋子さん (三廻部) 「収穫した落花生はじばさんずなどに出荷します」

亀岡美代子さん (小巻町) 「お彼岸に向けて頑張って手入れして、良い小菊を作りたいです」

(堂田)

子どもや孫も大喜び

女性部が支部活動として企画するブドウ狩りが、部員同士や家族の交流を深めるイベントとして定着している。幼稚

ブドウ狩り

園・小学校などの夏休みに合わせて、毎年8月に開催。部員だけでなく、子どもや孫を連れてブドウを収穫し、家族ぐるみで交流を深めている。



ブドウ狩りを楽しむ部員家族

わせて約80人が参加した。

部員らは、たわむれに実った「デラウェア」を次々と収穫。子どもたちも大人に持ち上げてもらったり、踏み台を使ったりしながらもぎ取りを楽しんだ。

試食の時間も楽しみの一つ。参加者みんなでみずみずしいブドウを味わいながら、会話を花を咲かせた。

支部の交流活動定着

今年5月7日の3日の草山ブドウ園で、西支でブドウ狩りをした。3日間、本町と南支が平沢部が堀西の山口ブドウ園支部の部員とその家族

練習の成果発揮

熱くバドミントン大会

女性部は18日、上小学校的の体育館で球技大会(バドミントン)の部をの練習の成果を発揮し、熱戦を繰り上げた。

参加した部員は「楽しんで参加できた。結構楽しく動いて良かった」と感想を話した。栗原・榎田ペアが優勝した。準優勝は府川・井上ペア。



軽いフットワークでシャトルを運ぶ

会津の文化や自然満喫

福島県への企画旅行に85人



足湯など温泉も満喫

女性部は7月22、23の両日、企画旅行で福島県方面を訪れた。85人が参加し、800年以上の伝統を誇る会津田島祇園(ざわん)祭や、会津鉄道(きん)の貸し切り列車からの展望、温泉観光などを

楽しんだ。1日目は、塩原渓谷に架かる3200級の「もみじ谷大吊(つり)橋」を見学した後、会津田島祇園祭を堪能。祭りの大屋台行と屋台歌舞伎を鑑賞した。



本町支部 中野生活班 三川 千代

50代女性部活動

私の班は、14人とたくさん班員がいます。若い人は働いていて行事はなかなか参加できませんが、共同購入の利用を中心に「できるだけ行事に参加しよう」と声を掛け合っています。

運動会では、競技に出場しようと張り切って行きますが、足、腰が悪いのでつい応援に回ってしまいます。それでも参加すると皆さまで声を掛けてくれるので、楽しく過ごしています。今後とも声を掛け合い、たくさんの方に参加したいと思います。

2日目は、芦ノ牧温泉駅の名産駅長ネコの出迎えを受けて乗る、お座敷車(のりこ)からの景色や、湯野上温泉駅にある足湯を満喫した。

せっけんを作ろう

上支部は11日、上支所で使用済み油を使ったせっけんを作った。部員15人が参加した。



ゴムの腕輪作り挑戦する参加者

女性部は、J A はだの「お茶飲み交流会」に協力している。各支所と連携し、高齢者の生きがいづくりを推進している。女性部は、髪ゴムを編み込んで腕輪作り挑戦した。色とりどりのゴムを使い、オリジナルのアクセサリーを完成させた。その他、目的別趣味グループ「北踊会」が披露した舞踊などを楽しんだ。昼食は、部員が手作りの弁当を用意。心の込められた料理に会話も弾み、会場は笑顔に包まれた。

9月の女性部行事予定

- 3日(木)第2回女性部運動会運営委員会 9:30~団地2階・研修室
- 女性部本部役員会 13:30~団地2階・研修室
- 9日(水)女性部支部役員会(南) 9:00~南支所・会議室
- 女性部支部役員会(大根・本町) 9:30~各支所・会議室
- 南支所「へちま化粧水作り」 10:30~南支所・会議室
- 上支部「エークック料理講習会」 11:00~上支所・会議室
- 女性部支部役員会(西・上) 13:30~各支所・会議室
- 10日(木)女性部支部役員会(東) 9:30~東支所・会議室
- 女性部支部役員会(北) 13:30~北支所・会議室
- 14日(月)ふるさと料理教室(北幼稚園) 9:30~北公民館
- 15日(火)「食を学ぶ研修会」 10:00~湘南方面 ままメートクラブ 10:00~百合の間
- 16日(水)4 J A ボルケットボール親睦会 13:00~秦野市総合体育館
- 18日(金)ふるさと料理教室(大根幼稚園) 9:30~大根公民館
- 東支部「さつとカブリナ作り」 9:30~東支所・会議室
- 27日(日)たばこ音頭千人パレード 13:20~本町幼稚園前
- 28日(月)ふるさと料理教室(堀川幼稚園) 9:30~堀川公民館
- 29日(火)東支部「ヨガ」 9:30~東支所・会議室
- 30日(水)大根支部「お茶飲み交流会」 9:30~大根支所・会議室



廃油でろうそくを作る部員

せつけんを作ろうと、ろうそくを作る部員。それぞれ各自で持ち寄った使用済み油を少しずつ加えた。30分ほど混ぜ続け、とろみが出たところで空の牛乳パックに流し入れた。各自持ち帰り、1週間から10日かけて固めた後、使いやすい大きさに切って天日干しすれば完成する。ろうそくは、フライパンの中で温めた廃油に刻んだクレヨンを入れて色を付け、凝固剤を混ぜながら固めて作った。青、ピンク、紫の3色のろうそくを完成させた。参加した部員の一人は「廃油せっけんは汚れがよく落ちるので出まわりの役に立つのでうれし」と笑顔を見せた。

告知板

下期廃ビ・廃ポリ回収について
 農業用資材の廃棄処分対策の一環として、使用済み農業用ビニールおよび農業用ポリ製品の回収を行います。
 ◎日時 9月12日(土) 大根・南地区 午前9時～同10時 東・西地区 午前10時～同11時 本町・北・上地区 午前11時～正午
 ※天候により変更する場合があります。
 ◎場所 本所選果場下
 ◎対象者 JAから貸いだ。

9月の年金相談会
 年金の受給に関する相談会を開きます。無料で個別にご相談をお受けします。お気軽にご来所ください。

JAグリーンで購入した品物の通帳摘要について
 JAグリーンで購買カードを使って商品を購入した場合、9月1日購入分から通帳摘要が商品の分類ごとに記載されます。今年1月末のレジシステムの更新以降、通帳摘要がまとめて「POSトリヒキ」となっていますが、更新以前と同様に、購入した品目ごとに1行ずつ記載されます。

文化講演会を開催
 生活文化の向上や地域社会の発展の一助にするため、第23回文化講演会を開催します。

生産緑地地区の取得 あっせんについて
 秦野市から生産緑地法第13条に基づき、下表の通り生産緑地のあっせん依頼がありました。

お問合わせは組織教育課まで
 81-771-9



パンパスグラス飾る

菩提の小泉清さんは16日、じばさんずのレシ横にパンパスグラスを飾り付けた。普段からパブリカや赤カフなど色鮮やかな野菜を数多く出荷し、売り場を盛り上げている小泉さん。「秋の気配を感じてもらえれば」との思いから、畑に生えている約25株のうち、5株を展示した。草丈は2センチ以上あり、羽毛のような大きな花穂が来店者の目を惹きつけている。

◎9月3日(木) 北支所
 ◎9月13日(日) 本所
 農業団地センター2階
 時間は午前9時から午後4時まで。相談を希望される方は、支所または信用課まで事前予約をお勧めします。
 お問合わせは信用課まで。81-771-6

8月は組合員訪問日充実月間
 組合員訪問日は1968年8月から実施し、今年で47年目を迎えました。毎月26日に組合員宅を訪問し、機関紙「JAはだの」や通知を配布するとともに、組合員と職員がコミュニケーションを深め、ご意見・ご要望の把握に努めてきました。
 今月はこの組合員訪問日をさらに充実させようと、組合員訪問日充実月間としています。

カラオケ大会を開催
 11月22日(日)の農業まつりで、カラオケ大会を開催します。市内在住の方ならどなたでも参加いただけます。この機会にぜひ、自慢の歌を披露してみませんか。参加申し込みは9月28日(月)から。
 お問合わせは企画課まで。81-771-4

お問合わせは組織教育課まで
 81-771-1

JAはだの携帯電話のメールを利用した情報配信サービスを行っています。
 営業情報や重油・燃料価格、葬儀のお知らせなど、組合員が希望する情報を提供しています。また、登録者にJAの活動や事業の最新情報などを、月2回のメールマガジンとして配信しています。
 ◎利用は、各支所・支店または組織教育課にある申込書に必要事項をご記入・押印の上、担当窓口にお申し付けください。
 お問合わせは各支所・支店または組織教育課まで。81-771-4

JAはだのケーセンターでは、ホームヘルパーを募集しています。
 年齢不問。働きやすい職場です。お気軽にお電話ください。
 ◎業務内容 訪問介護
 ◎資格 訪問介護員2級養成研修課程修了者、要普通免許
 ◎時給 1,200円(土日祝の加給有り)
 ◎採用3カ月までは時給1,000円
 ◎時間 午前8時～午後6時
 ※時間・勤務日は応相談
 ◎待遇 制服貸与、交通費規定支給
 お問合わせはJAはだのケーセンターまで。83-7210

図書室のご案内
 本所農業団地センター3階の図書室には農業をはじめ、料理やガーデニング、健康や生活に役立つジャンルの本が5,000冊以上並んでいます。家の光協会出版の最新刊の閲覧もできます。どなたでもご利用できますので、ぜひ図書室をご活用ください。
 ◎貸出日数 2週間、1人3冊まで
 ◎開室日 月・金曜日(祝祭日を除く)
 ◎開室時間 午前8時30分から午後5時まで
 ◎貸出し・返却 図書室にある専用の用紙に必要事項を記入するだけの簡単な手続きです。
 お問合わせは組織教育課まで。81-771-4

3階の図書室には農業をはじめ、料理やガーデニング、健康や生活に役立つジャンルの本が5,000冊以上並んでいます。

お問合わせは組織教育課まで
 81-771-1

お問合わせは組織教育課まで
 81-771-1

お問合わせは組織教育課まで
 81-771-1

お問合わせは組織教育課まで
 81-771-1

お問合わせは組織教育課まで
 81-771-1

お問合わせは組織教育課まで
 81-771-1

土地の所在および地番	地目	面積(平方メートル)
南矢名字熊野堂2185番1	畑	1,340
南矢名字熊野堂2185番7	宅地	48.26
南矢名字熊野堂2185番11	宅地	0.05

※縮め切り日は9月24日(木)まで。

土地の所在および地番	地目	面積(平方メートル)
西田原字船籠1213番1	畑	870

※縮め切り日は10月1日(木)まで。

お問合わせは組織教育課まで
 81-771-1

9月のイベント情報

※平假名の都合上、内容に変更があることがあります。ご了承ください。

- ☆「ユースマルシェ」5日(土)
 青年部部員が、小ネギ、ナス、ブドウ、堆肥などを対面販売します。
- ☆「うでピーフェア」5日(土)、6日(日)
 新豆のできたてゆで落花生「うでピー」の試食販売をします。
- ☆「梨フェア」5、12日の土曜日
 秦野産の梨の試食販売をします。
- ☆「ブドウフェア」6、13日の日曜日
 秦野産のブドウの試食販売をします。
- ☆「生産者のお弁当」8日(火)
 農家のお母さんの手作り弁当は、旬の野菜がたくさん入っていておいしいですよ!
- ☆「おすすめ品フェア」12日(土)、13日(日)
 おすすめ品の乾物の試食販売をします。
- ☆「秋の蒸パンまつり」12日(土)、13日(日)
 蒸パンミックスを活用したさまざまなレシピを紹介します。
- ☆「お楽しみ詰め放題」13日(日)
 野菜や果物の詰め放題をします。お楽しみに!
- ☆「農家さん手作り加工品」19日(土)、20日(日)、26日(土)
 農家が手作りしたさまざまな加工品をご用意します。
- ☆「ピーナッツフェア」22日(火)
 秦野の特産「落花生」で作った「ピーナツクリーム」や「うでピー」の試食販売をします。
- ☆「収穫祭・縁日」26日(土)、27日(日)
 秋野菜の試食販売やレシピの紹介をします。金魚すくいもありますよ!お楽しみに!
- ☆「試食の日」1、8、15、29日の火曜日
 生産者が出荷している旬の農産物やレシピを紹介します。
- ☆「お米の日」毎週水曜日
 店頭価格から10%引き。
- ☆「肉の日」毎週木曜日
 秦野産・県産肉製品が5%引き。

3階の図書室には農業をはじめ、料理やガーデニング、健康や生活に役立つジャンルの本が5,000冊以上並んでいます。家の光協会出版の最新刊の閲覧もできます。どなたでもご利用できますので、ぜひ図書室をご活用ください。
 ◎貸出日数 2週間、1人3冊まで
 ◎開室日 月・金曜日(祝祭日を除く)
 ◎開室時間 午前8時30分から午後5時まで
 ◎貸出し・返却 図書室にある専用の用紙に必要事項を記入するだけの簡単な手続きです。
 お問合わせは組織教育課まで。81-771-4

写真コンテスト 作品を大募集!

“ゆとり” “やすらぎ” “うるおい”
 秦野の農業の魅力を発信する写真をお待ちしています

応募締切は **10月23日(金)**

第11回JAはだの「農の魅力」写真コンテストの募集要項・応募用紙は各支所・支店・組織教育課へ

文芸の窓

△俳句▽酒井 敏光 選

里荒れて山百合少なくなりしかな
 芦川 松江(八沢)
 評 全く同感です。山百合が少なくなること
 は自然が壊れると同時に故郷が壊れること
 でもあります。大切にしたいものです。
 風をさへ厭つ少女や砂日傘

以前は小麦色に肌を焼くことが流行った
 が、今は焼かないのが流行と言っています。
 り焼りは世の常でしょうか。
 友は皆な好み色の夏帽子
 洗わねば
 柴崎 和子(淡沢)
 夏木立信濃の里を深く抱き
 高橋 順子(大秦町)

飼い主は避暑地の獣道を知り
 沼田 徹(鶴巻)
 手を入れて浮かせて掬う冷や豆腐
 柳川みち子(栄町)
 刻すぎて無常をさらす原憲
 佐藤英美子(南矢名)
 夏袴少女の長き素足かな
 森高 由子(淡沢)
 走馬灯幼へ返る道しるべ
 富男 選

友近きて早も六年八月は
 哀しき月よ今日は命日
 今井 かめ(羽根)
 評 長寿はめでたいことであるが、友達が少
 なくなる。親しかった友を送って早くも
 6年を経た。猛暑の八月は作者にとつて
 悲しみの月でもある。
 悲しみの月でもある。ときカラスウリ
 ふんわりとレースのごときカラスウリ
 真白き花のほのかにかおる
 孝子(千村)

天井がゆがみて回り吐気腹つ
 わが日常の破れし瞬間
 八木 実(鶴巻北)
 群れ咲ける畑逃れしやどの
 グラジオオラスは異彩を放つ
 細田 富士(千村)

八月八日卒寿の吾の誕生日
 残る時間を感謝で生きん
 小泉トシ子(清水町)
 キュウリナス親子で植えしが探れ朝
 笑顔あふれる山の学校
 伊東 久(淡沢)

※仮名使いは作者の用法を尊重していません。
 ※作品発表 毎月10日(締切)まで
 JAはだの組織教育課宛にお送りください。

今月の理事会

8月24日に理事会を開
 催し、次のことを審議し
 ました。
 ▽第27回JA全国大会



71人が新しく仲間にな
 りました！

- ▽大根地区
 - ▽南矢名 山田 敏
 - ▽南矢名 東修 二
 - ▽南矢名 川崎 昭
 - ▽南矢名 須藤 美枝
 - ▽南矢名 飯田 恵美子
 - ▽南矢名 柳川 房江
 - ▽南矢名 出川 良泰
 - ▽南矢名 杉山 まり子
 - ▽南矢名 鶴巻 山二
 - ▽南矢名 鈴木 久美子
 - ▽南矢名 伊藤 浩美
 - ▽南矢名 佐々木 節子
- ▽東地区
 - ▽名古木上 倉名 大輔
 - ▽清水 大場 和枝
 - ▽原 島海陽子
 - ▽井の城 池環
 - ▽大橋 義弘
 - ▽上宿 下田 千鶴代
- ▽南地区
 - ▽三協町 山地 美佳
 - ▽北町 三田 房重光
 - ▽西町 三間 康
 - ▽柴田 裕子
 - ▽鈴木 智子
 - ▽中町 小笠原 敏昭
 - ▽木本 悦朗
 - ▽徳富 洋美
 - ▽今川 町市川 恵美子
 - ▽白井 町小原 明子
 - ▽新田 町原 幸代子
 - ▽高原 和明
 - ▽星山 谷子
- ▽北地区
 - ▽原根 東 守屋 昭彦
 - ▽菅 原上 森秀 明
 - ▽戸川 西 安藤 寿哉
 - ▽安藤 恵知子
 - ▽三屋 滝口 好光
- ▽西地区
 - ▽下関 古合 繁之
 - ▽波多川 露木 マサ江
 - ▽露木 幸恵
 - ▽荒井 節子
 - ▽沼代 二木 優輔
 - ▽今野 佳子
 - ▽宇合 子
 - ▽堀川 下 小幡 越京子
 - ▽堀川 下 小幡 越京子
 - ▽竹田 柁代
 - ▽地区外 関 半田 清子
- ▽東地区
 - ▽武藤 明美
 - ▽武藤 裕美
 - ▽堀川 京子
 - ▽石打 場 鈴木 ひさ子
 - ▽曲松 一 百々 幸子
 - ▽曲松 上 杉 節子
 - ▽石原 幸子

JAデイサービスセンターはだの ボランティア活動状況<7月>

利用者募集中
 JAデイサービスセンターはだのでは新規利用者を募集
 中です。ぜひ一度見学に来てください。日曜日以外は、営業し
 ております。お気軽にお問い合わせください。 ☎85-5177

日	曜日	ボランティア名	内 容
2	木	石井博行	将棋
4	土	野木三夫	将棋
6	月	まめの木(佐久間)	お茶出し、話し相手など
7	火	石井博行 新友会(佐野、横尾、小泉、富永)	将棋、オセロ 隅り
8	水	佐藤 絵手紙愛好会(加藤、柄崎)	お茶出し、話し相手など 絵手紙
9	木	石井博行 笑顔(大木)	将棋、オセロ 腹話術
10	金	まめの木(遠藤、山口)	お茶出し、話し相手など
11	土	小島繁義	将棋、オセロ
13	月	まめの木(芦川、飯田、関野) 絵手紙愛好会(戸沼、測上) すみれ会(4人)	ドライバーかけ、お茶出し、話し相手など 絵手紙 新聞ちぎり絵
14	火	石井博行 野呂田(2人) 絵手紙愛好会(木村、宮前、山田、谷)	将棋、オセロ 三味線、ハーモニカ、歌 絵手紙
15	水	尺八クラブ(5人)	尺八演奏
16	木	石井博行 竹とんぼ(泉田、奥谷、中山、利根川)	将棋、オセロ 音楽ボランティア
21	火	やまぶきの会(石田、渡辺)	朗読
23	木	石井博行 矢野一博	将棋 ハーモニカ演奏
24	金	まめの木(山口、青木)	お茶出し、話し相手など
25	土	小島繁義 絵手紙愛好会(岡部、安田、水村) 岩田計枝	将棋、オセロ 絵手紙 ドライバーかけなど
27	月	まめの木(東、関野)	お茶出し、話し相手など
28	火	ひばりの会(4人) ラ、ポール(5人)	お茶出し、話し相手など 音楽療法
30	木	石井博行	将棋、オセロ

結婚相談日
 9月10日(木)
 時間 午前9時～正午
 場所 JAはだの本所
 農業団地センター1階
 お問い合わせ
 組織教育課 ☎81-7714

税務相談日 9月10日(木)
 午前9時30分～
法務相談日 9月24日(木)
 午後1時30分～
 場所 JAはだの本所2階
 組織教育課
 ☎81-7714
・予約制となっておりますので、事前にお電話にてご予約をお願いします。
 ・受け付け順に相談時間が決まります。

大豆を食べよう! ~畑から食卓へ~



春巻

西支部 内藤 順子

【材料10個】

もやし200～250g、ニラ1束、ニンジン1本、シイタケ3枚、タケノコ小1、ショウガ1片、ネギ1本、豚ひき肉100g、酒少々、しょうゆ大さじ3、合わせみそ大さじ2、砂糖少々、だしのもと少々、かたくり粉適量、春巻の皮10枚、揚げ油適量

【作り方】

- ①ネギ、ショウガをみじん切りにし、豚ひき肉と合わせて炒めて取り出しておく。
- ②ニラをざく切り、ニンジン、シイタケ、タケノコを千切りし、もやしを加えて炒める。
- ③②に①を入れ、酒、しょうゆ、みそ、砂糖、だしのもとを加えて強火で炒める。
- ④水溶きかたくり粉を入れとろみをつける。
- ⑤冷めてから春巻の皮で巻き、170～180度の油でキツネ色になるまで揚げる。

【一言アドバイス】

みそを入れることで、何も付けずに食べられます。
 ※このレシピはJAはだの女性部大豆料理コンクールで優秀賞に選ばれた料理です。



家の光 今月の新刊
 知識ゼロからの
 畜産入門
 八木宏典 監修
 肉類・乳製品・卵とい

住宅ローン 年金受給手続き 休日相談会

●マイホームの新築・購入から、リフォーム・借り換えまで、資金のご相談を受けております。
 ●これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。

日時 9月13日(日)

会場 JAはだの本所 農業団地センター

※時間は午前9時～午後4時まで
 どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。

それぞれ事前予約を
 されると便利です。

●住宅ローンを相談される方は 融資課に
 ●年金受給手続きを相談される方は 信用課に

JAはだの本所
 秦野市平沢477

■融資課 ☎81-7713
 当日は ☎0120-954-093

■信用課 ☎81-7716
 当日は ☎0120-954-092

牛と国産牛の違いから買
 易最新事情まで、図解入
 りで分かりやすい。
 定価1620円(税込)

母が重い!
 しんどい母と娘の関
 係を築くヒント
 下園 壮木 著

母親に言われたこと言
 が忘れられない、たまに
 会うとどっと疲れる……。
 母親との関係にストレス
 を感じるあなたに、楽に
 なる気持ちの切り替え方
 やリラクセス方法をプロ
 のカウンセラーが的確に
 アドバイスします。
 定価1404円(税込)

夏休みを迎え、市農業後継者クラブ「秦友会」が取り組む「メン トコーン迷路2015」が、市内の家族連れを中心に人気を呼んでい る。市商業後継者組織「秦野あ きんど育成会」などと連携して開 いた7月25日のオープンイベント には約1000人が来場した他、 連日多くの家族連れが訪れてい

スタンプラリーも

後継者クラブが農業PR



迷路を探索する子ども

迷路への入場は無料で、一般開放は8月31日までを予定している。子どもが顔を話した。秦野の農業を知る良いきっかけにもなる」と笑顔で話した。

迷路は、同会のメンバーが同市東田原の約20坪の畑に飼料用トウモロコシのデントコーンを植え付け、整備してきたもの。来場者は、スタンプラリーに挑戦しながら、迷路内にあるカーネーションや茶などの生産の概要を記載したプレートを見つけ、秦野市の農業について理解を深めた。来場した家族連れは「子どもが

市長と親しく

素友会 取り組み説明し懇親

21日には「素友会」と農業について意見を交換。ふるさと納税制度を古谷義幸市長が、デントコーン迷路で懇親会を開いた。会員は迷路内を案の農業の現状、今後の農内しながら、取り組みを政などさまざまな内容を説明した。その後、同公話した。古谷市長は「若い力

楽しいねコーン迷路

で、攻めの農業を引っ張ってほしい。市と話した。



迷路内を散策する古谷市長と会員

電気柵の安全性確認 都市農業支援センター



電圧計で電気柵の通電状況を確認するセンター職員

静岡県西伊豆町で発生した電気柵による事故を受け、はだの都市農業支援センターの職員が7月21日、市内の電気柵を見て回り、あらためて安全性を確認した。秦野市の電気柵は、行政の補助を受けて設置したものが6カ所・総延長11・3キロ。個人で設置したものを加えると、倍以上になると見られる。巡回では同センターの職員が①電気用品安全法の基準を満たす電気柵用電源装置の使用②基準以上の漏電が起きたとき、0・1秒以内に電気を遮断する漏電遮断機の設置③容易に視認できる位置に危険表示を掲示しているなどの3点を確認。さらに線が切れていないかを目視し、電圧計を使

農機品定め 農機品定め



農機を品定めする組合員

農機品定め 農機品定め 農機品定め

断する漏電遮断機の設置を確かめた。同センターは、今後も電気柵の適正管理を訴えたい。 トラクター、コンバインなど大型機械に加え、家庭菜園で人気の小型農機も会場にすらりと並んだ。実演コーナーでは、来場者が実際に農機を操作し、機械の性能や特徴を確かめた。同日開かれた三二講習会には、多くの来場者が参加し、管理機や刈り払い機などの適切な使用方法を学んだ。 資材メーカーによる生産資材展示や相談コーナー、入札制度を活用した中古農機の販売会なども開催。多くの来場者にと

地域の「かわら版」紹介

より身近なJA目指す



JAはだのは、各支店を掲載。渉外担当者の所・支店が発行する地域密着型広報紙「かわら版」を集約した「地域のかわら版紹介ボード」を作成。多くの来所者の目に付きやすい本所1階ロビーに設置し、より親しみやすいJAづくりに力を入れている。 「かわら版は、毎月7支所・2支店の若手職員が中心となって作成している。紙面には、JAや生産組合の活動、支店・支店管内の身近な情報な

シャム作りで 農産加工学ぶ 起業セミナー JAはだのは20日、本所農業団地センターで農産加工起業セミナーを開いた。受講生8人が参加。受講生はシャム作りを体験しながら、加工品を作る手順や注意点を学んだ。

受講生の一人は「冷めないうちに素早く作業することや脱気殺菌など、大事なことを勉強できて良かった」と話した。 久保寺さんは「無添加で安全、その上おいしいという点を消費者に知ってもらったためにも、技術を磨いては必ずなくさん出荷してほしい」と期待を寄せた。

久保寺さんから加工の注意 久保寺さんから加工の注意 久保寺さんから加工の注意



受講生の一人は「冷めないうちに素早く作業することや脱気殺菌など、大事なことを勉強できて良かった」と話した。

農家の気持ち分かる

今年も夏休みに 経営士会が招く



三留会長(左)に教わりながらブルーベリーを摘み取る児童

秦野市農業経営士会は、毎年夏休み中に小学生を募って市内の農業に親しんでもらう体験学習を開いている。3、7日の5日間、市内の小学生39人が、果樹や野菜、花き、茶、酪農などを営む13人の経営士の下で、さまざまな農作業に汗を流した。

児童が体験学習

同学習は市内の小学4、5年生を対象。事前にと「農」のつながりや重みのある作目を選択し、経営士と共に実際の農作業を体験する。地域

発見 頑張り屋

No.388

幅広い客層に対応



寺山でコンビニエンスストア「デイリーヤマザキ野藤棚店」を運営する高橋伸明さん。祖父の時代から経営する商店を継ごうと、高校卒業後には見習いとして3年間実務を経験。1980年に

寺山の「高橋伸明さん(55)

父から店を継ぎ、現在3代目として活躍している。店は「藤棚酒」から「am/pm」を経て「デイリーヤマザキ」へと名前を変えたが、心を込めた変わらぬ接客で地域から親しまれている。仕事は？商品の発注や売り上げ管理、品出しのサポートなど、オールラウ

幅広い年齢層に対応です。市街から離れていることもあり、季節や天候によって商品の売れ行きがかなり左右されるので、先読みが非常に大切な仕事です。昔から続く地域密着の店として、お客さまとの会話を大切にしています。お客さまに「ありがと」と言ってもらえることや、ひいきにしてもらえることが、やりがいになっています。小・中学校のお客さまが増えるように、これからも頑張ります。

教育の現場に「農」を

高校教諭が直売所で実習



品出し作業に励む牧嶋さん

じぼさんすは、食農教育への取り組みの一環として、市内の教育関係者の職場体験を積極的に行っている。同店で得た経験を生徒に伝えてもらい、教育現場での農業理解を促進する狙いだ。

職場体験に参加したのは、同校2、3年生の数学科目を担当する牧嶋達裕さん。主に品物の運搬から袋詰め、品出しなどの作業をしながら、地場産農産物を求める利用者の多さや、農家と利用者との距離の近さを学んだ。

盤上で熱戦

組員員囲碁将棋大会



白熱した対局が続いた

J Aはだのは6日、本所第21回組員員囲碁将棋大会を開いた。興味を深めて、ゆとりある生活と組員員相互の親睦を深

菊作りの技 互いに磨く

菊作りの技 互いに磨く



菊の生育状況を確認する会員

菊作りの技 互いに磨く 菊作りの技 互いに磨く 菊作りの技 互いに磨く

豊作を祈る

盆の伝統行事

盆の伝統行事 盆の伝統行事 盆の伝統行事



巨大なたいまつを振り回す若衆

- 長寿者に記念品贈呈... 77歳(喜寿)...

対策などについて互いに... 対応などについて互いに...

秦野市農業経営士会とJAはだのは7月23日、本所で新規就農者を励ます集いを開き、新たに就農した3人にエールを送った。県や市、青年部など関係者23人が出席し、励ましの言葉と記念品を贈った。

期待込め くわ贈る

激励の集い

今年就農したのは、露 培する富田新一さんは、地野菜などを栽培する山 自身の就農後の体験を発 口哲治さん、落花生など 表示ながら、農業に励む を栽培する高橋勇太さん 上で心構えを伝授し ん、茶を栽培する山口尚 輝さんの3人。

JAの山口政雄組合長 同会の三留文雄会長は「技術や時代の変化に 「TPP(環太平洋連携 対応し、自分の農業を確 協定)など、農業を取り 立てほしい」と話し、 善く環境は厳しいが、目 記念のくわを贈った。 標を持って頑張るってほし 市、同会、農業委員会も い」と激励した。また、 記念品を贈り、3人を激 励した。



各方面から新規就農者をエール

フレッシュ3人 新規就農者

先輩が心構え伝授しエール

お茶の良さ若い人たちへ

長野県で保育士として活躍していた山口尚輝さんは、菩提の「わさび」に就農した。結婚を機に秦野市に移り住み、県の農業アカデミー野菜コースで農業の基礎を学んだ。

菩提 山口尚輝さん(27)



【父・勇さんの期待の言葉】
就農して初めての農作業ばかりで大変だと思うが、農業は一つ一つの経験の積み重ねなので、焦らずに歩んでほしい。

特産落花生盛り上げたい

不動産関係の会社などに勤めていた西大竹の高橋勇太さんは、今年4月を期して退職し、独学で1年間農業に励んだ後、県の農業アカデミー野菜コースに進学。これまで身に付けたノウハウを生かして、日々農業に励んでいる。

西大竹 高橋勇太さん(28)



【母・千枝子さんの期待の言葉】
農業は体が資本。体に気を付けてながら、目標に向かって日々努力していったらいい。

新しいことに挑戦するぞ

一般企業で約10年勤務した後、2013年に就農した堀山下の山口哲治さんは、2013年を期して退職し、独学で1年間農業に励んだ後、県の農業アカデミー野菜コースに進学。これまで身に付けたノウハウを生かして、日々農業に励んでいる。

堀山下 山口哲治さん(35)



【父・敏男さんの期待の言葉】
農家としては難しい時代。期待と不安が半々だが、客のニーズをつかみ、自分のやり方や経営方針を固めて成功してほしい。

を受けながら、農業に汗を流す毎日だ。今後は、茶の生産時期と重ならないカラフラワーなどの栽培も視野に入れていく。「初めてのことがな

【父・勇さんの期待の言葉】
就農して初めての農作業ばかりで大変だと思うが、農業は一つ一つの経験の積み重ねなので、焦らずに歩んでほしい。

【母・千枝子さんの期待の言葉】
農業は体が資本。体に気を付けてながら、目標に向かって日々努力していったらいい。

【父・敏男さんの期待の言葉】
農家としては難しい時代。期待と不安が半々だが、客のニーズをつかみ、自分のやり方や経営方針を固めて成功してほしい。

地場野菜カレー作り タマネギ染め楽しむ

ちゃぐりんスクール



食材を切り分ける児童ら

皮から煮出した小麦色の汁でタオルを染め、さまざまな模様のオリジナルタオルを完成させた。参加した児童の一人は「みんなで一生懸命作ったからおいしいカレーができた」と笑顔で話した。

地域一体で満喫
夏まつりに
25000人

【夏まつり】を1日、本所で開き、約2500人が訪れた。組合員や地域住民とのふれあいを通じて、協同の精神の大切さを感じてもらおうと開催しているもの。会場は多くの地域住民らでにぎわった。

女性部員の指導の下、児童は秦野産のニンジンやナスなどを調理。米は飯ごうで炊き、完成したカレーは昼食で味わった。その他、タマネギのギ染めに挑戦した。

児童は秦野産のニンジンやナスなどを調理。米は飯ごうで炊き、完成したカレーは昼食で味わった。その他、タマネギのギ染めに挑戦した。

児童は秦野産のニンジンやナスなどを調理。米は飯ごうで炊き、完成したカレーは昼食で味わった。その他、タマネギのギ染めに挑戦した。

JAはだのは22日、菩提の表丹沢野外活動センターでちゃぐりんスクールを開いた。市内の小学3〜6年生58人が、地場産の野菜を活用したカレー作りとタオルをタマネギの皮で染める「タマネ



多くの来場者が参加した盛況り